

『ウォーキングフットボール』ってなに??

ウォーキングフットボールとは、現在イギリスを中心に急速に愛好者が増えている「歩くサッカー」です。イギリスでは50歳以上の人たちによるクラブが1,000近くにもなっています。高齢者だけでなく子どもからお年寄りまで、障がいの有無も関係なく、サッカー経験も問わない、誰もが楽しめるスポーツです。

ルールは簡単!



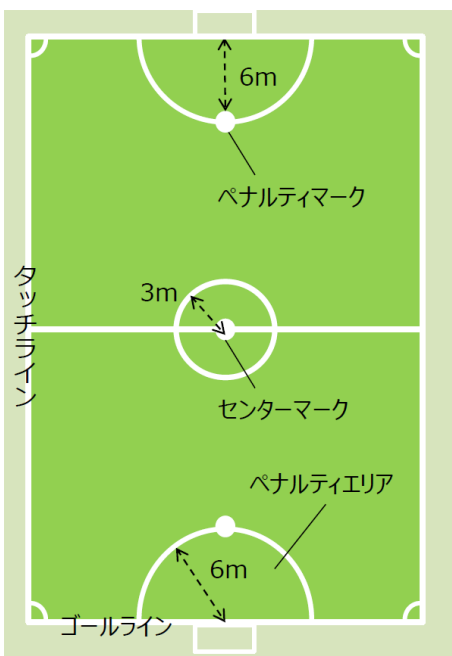
走ってはいけません。早歩きはOKです。誰が見ても「走ってる」と思えるような極端な場合は反則となります。



相手に身体を当てるチャージやスライディングタックルはしてはいけません。相手がボールを保持している時は奪いにいかず、トラップミスやドリブルなどでボールが離れた時、またはパスカットを狙いましょう。



ヘディングをしてはいけません。ボールの高さは約1.8mかゴールの高さの高い方を超えると反則になります。当たって跳ね上がった場合は反則にはなりません。



反則はPK以外すべて間接フリーキック

- ・反則は反則が起きた場所から間接フリーキックになります。
- ・キック時、相手チームは3m以上離れてください。
- ・相手ペナルティエリア近く(3m以内)の相手の反則は、ペナルティエリアから3m離れた場所からキックします。
- ・直接ゴールに入っても得点にはなりません。

セルフジャッジの自己申告制!

審判がいなくても全員がフェアプレーとリスペクトの精神をもって、反則やボールが出た時はプレーヤーが自己申告することをトライしましょう。

■ピッチサイズと人数

- ・フットサルピッチやバスケットコート大きさでは、5対5や6対6が適当でしょう。
- ・サッカーフルサイズの1/4位の大きさでは7対7が適当でしょう。
- ※参加者のレベルや状態でサイズや人数を決めて構いません。

■試合時間

- ・参加者のレベルや状態によって5~15分までがいいでしょう。前後半に分けても分けなくてもOKです。

■交代

- ・自由です。

■ペナルティエリアへの侵入

- ・イングランドサッカー協会が推奨するルールでは、ペナルティエリアにはGKしか入れず、味方がペナルティエリアに入ると相手チームにPKが与えられます。
- ・勢い余って入った場合で、プレーに関与していなければ反則にはなりません。
- ・ペナルティエリアの半径6mが大きいと思われる場合は縮小OKです。フットサルピッチのペナルティエリアをそのまま利用でも構いません。
- ・ピッチが小さければGKやエリアなしでもいいでしょう。

■ボールがタッチラインやゴールラインを出た場合

- ・タッチライン → キックイン
- ・ゴールライン → GKよりロールイン (下手投げ)

■反則

- ・これまで出てきた反則以外のハンドリングやキッキング、トリッピングなどの反則は基本的にサッカーと同じです。但し、オフサイドの反則はありません。